

2017年4月18日

各位

株式会社ビジネス・ブレイクスルー

代表者名 代表取締役社長 大前 研一

(証券コード:2464 東証一部)

BBT大学、AirCampus®を利用した「ブレンド型学習」モデル構築に向け AJIS、サザンクロス大学との共同プロジェクトを開始

株式会社ビジネス・ブレイクスルー(所在地:東京都千代田区、代表取締役:大前研一、以下BBT)が運営するビジネス・ブレイクスルー大学(学長:大前研一、以下 BBT 大学)は、BBTの子会社である株式会社アオバイナショナルエデュケーションシステムズ(所在地:東京都練馬区、代表取締役:柴田巖)が運営する「アオバジャパン・インターナショナルスクール(所在地:東京都練馬区、以下 AJIS)」と、Southern Cross University(サザンクロス大学、オーストラリア、以下SCU)の三者による共同プロジェクトを開始しました。3年間にわたる本プロジェクトは、BBTが独自開発したオンライン教育プラットフォーム AirCampus®を利用した新しい「ブレンド型学習」モデルの構築と AJIS への導入を目的としており、AJIS で提供されているIB(国際バカロレア)のカリキュラムによる学習の効果をより高めることが期待されます。

ICTの活用と対面指導を組み合わせた教授法である「ブレンド型学習」の効果的なあり方を考える本プロジェクトは、答えのない 21 世紀を生きる力を児童生徒にどのように身に付けさせたら良いかという問いから生まれました。本プロジェクトでは、BBTが独自に開発したオンライン教育プラットフォーム AirCampus®を利用して、最適な「ブレンド型学習」を行うことができる環境を作ること、全ての教員が本プロジェクトで構築された「ブレンド型学習」を現場で実践できるような教育システムを整備することの 2 本を柱に、学習者主体の教育を実現できる「ブレンド型学習」モデルを確立し、AJIS への導入を目指します。

BBTは 1998 年の設立以来、「グローバルに活躍できる人材の育成」をミッションに掲げ、革新的な遠隔教育システムによる双方向性を確保した質の高い教育を提供し続けています。忙しく働く、移動の多いビジネスパーソンでも継続的に学習できるよう独自開発した AirCampus®上では、講義受講だけでなく、ディスカッションや試験、レポート提出等、全ての学習活動を行うことが可能です。日本のインターネット普及率が6割にも満たなかった¹2002年の時点で AirCampus®を開発し、インターネット環境さえあればいつでもどこでもクラスルームにアクセスし学習することができるという状況を学習者に提供できるようになりました。2005年にBBT大学大学院を開学して以降も、大学としての機能も果たせるように改良を重ね、現在では文部科学省の認可を受けたBBT大学の学習活動と学生生活の全てを AirCampus®上で完結させられる、文字通りオンライン上のキャンパスとなっています。

AJISは、日本の歴史あるインターナショナルスクールとして40年以上にわたり、国際的な教育を提供し続けています。世界標準のより優れた教育の提供に向けてIB(国際バカロレア)の導入に取り組み、2015年にPYP(初等教育プログラム)とDP(ディプロマ資格プログラム)の、2016年にMYP(中等教育プログラ

¹ (出典) 総務省「通信利用動向調査」<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>

ム)の認定校に承認されました。初等部、中等部、高等部の全課程においてIB教育を提供できる IB一貫校として、世界のどこでも周囲をリードし新しい価値を生み出すことのできる児童生徒の育成に努めています。本プロジェクトでは、IB教育における教育実践の現場で得られる学習データや学習者のニーズを調査し、教育の全体像の把握に努め、学習者中心の教育に適した「ブレンド型学習」を構築していきます。

SCUは THE World University Rankings による Young University Rankings で上位 150 位にランキングされるなど国内外で高い評価を受けている、世界に羽ばたく人材の育成を目指す大学です。本プロジェクトに参加する David Lynch 教授は教員教育の世界的なエキスパートであり、教授法等に関する研究を数多く発表しています。本プロジェクトのために SCU の優れた教授陣を組織し、新しい「ブレンド型学習」モデルの構築に挑戦します。

BBT は、AJIS をはじめとするグループ校の IB 教育のノウハウをプラットフォーム化し、グローバル教育に関心を持つ教育機関と共有する事により、国内の IB 教育の普及と教育のグローバル化を支援したいとも考えています。また、文部科学省が推進する国内の IB 認定校を 200 校に増加する施策の一助になればと考えます。そのために、AirCampus®を活用して IB 認定を目指す教育機関の教員に必要な教育や支援も視野に入れており、本プロジェクトを足がかりとしていきたいと考えています。

BBT はこうした活動を通じて世界標準の教育を普及させ、教育におけるポジティブな変革、実現を目指しています。

【アオバジャパン・インターナショナルスクールについて】



株式会社ビジネス・ブレイクスルー(所在地:東京都千代田区、代表取締役:大前研一、以下 BBT)の子会社である株式会社アオバインターナショナルエデュケーションシステムズ(本店:東京都練馬区)が運営する歴史あるインターナショナルスクール。1976 年に目黒区青葉台での開校。幼児から 12 年生(高校 3 年生)までを対象とした、特定の宗教を持たない共学のインターナショナルスクール。日本語クラス以外の授業はすべて英語で行われる。国際バカロレアのカリキュラムに積極的に参加できるようになるための英語サポートプログラムも充実している。幼稚園から高校までの全ての課程において北米および国際水準のカリキュラムを提供、卒業生は世界中の大学への出願資格が得られる。さらに、アオバは CIS (カウンシル オブ インターナショナル スクールズ)および NEASC(ニューイングランド アソシエーション オブ スクールズ アンド カレッジズ)の認証も受けている。また、国際バカロレア機構 (IBO) より国際バカロレア (IB) DP (高等部)、MYP (中等部)、PYP (初等部・幼稚部) の認定校として承認されており、すべての課程において IB 教育を提供しています。 <http://www.aobajapan.jp/>

【BBT について】



グローバル環境で活躍できる人材の育成をミッションとして 1998 年に世界的経営コンサルタント大前研一により設立された教育会社。設立当初から革新的な遠隔教育システムによる双方向性を確保した質の高い教育の提供を目指し、多様な配信メディアを通じてマネジメント教育プログラムを提供。大学、大学院、起業家養成、ビジネス英語や経営者勉強会等多様な教育プログラムを運営するほか、法人研修の提供やTV番組の制作など様々な顔を持つ。2013 年 10 月のアオバジャパン・インターナショナルスクールへの経営参加を契機に、生涯教育をサポートするプラットフォーム構築をグループ戦略の柱の1つとして明確に位置づけている。在籍会員数約 1 万人、延べユーザーID 数は約 20 万。 <http://www.bbt757.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

アオバジャパン・インターナショナルスクール／株式会社ビジネス・ブレイクスルー PR 担当 袴田

TEL:03-6271-0757 FAX:03-3265-1381

E-mail:hakamada@ohmae.ac.jp